

社会福祉法人 正晴会
特別養護老人ホームさくら

「ノーリフレインテグケア体制の定着化」 について

施設長 高田 晃成
ユニットR 下元 学

施設の概要

■ 事業所 高知県土佐市高岡町

○ユニット型特別養護老人ホームさくら 平成27年3月開設

定員 60名

平均要介護度 3.9 (令和5年12月)

○短期入所介護 (予防) あんず

定員 20名

平均要介護度 2.0 (令和5年12月)

■ 職員総数77名

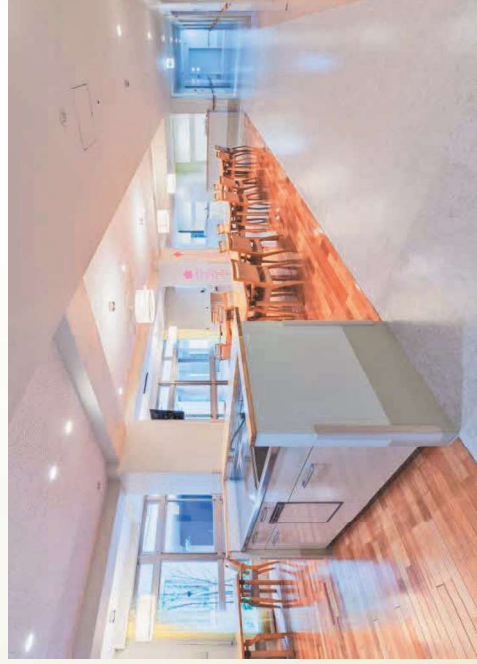
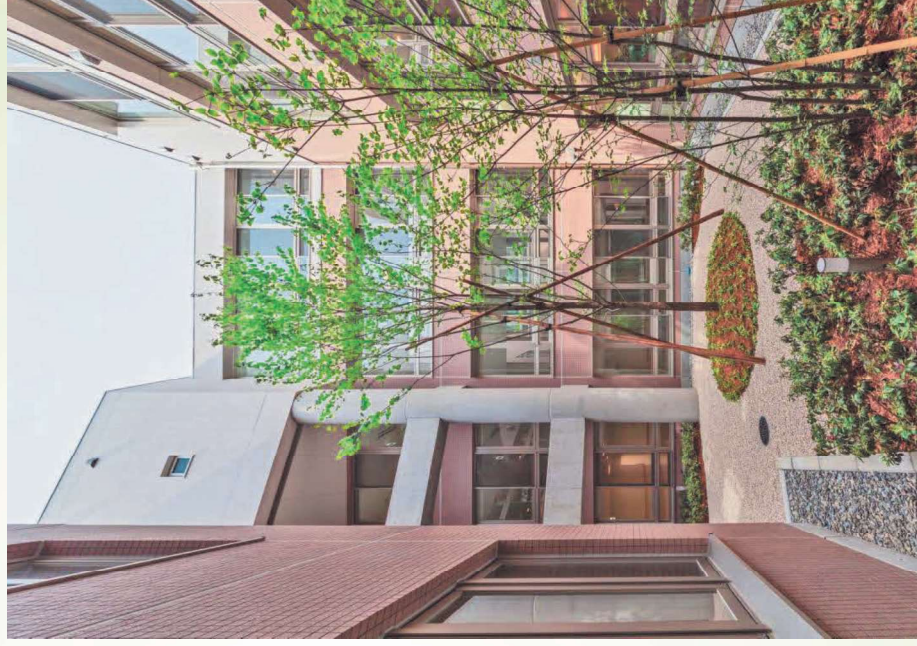
介護職員 常勤職員33名 非常勤職員9名

看護職員 常勤職員4名 非常勤職員1名

施設長、事務長、作業療法士2名、生活相談員4名、介護支援専門員1名、
管理栄養士1名、栄養士1名、調理員6名、事務員2名、清掃職員4名

施設の概要

- 外観、内観、中庭



ノーリフティングケアの取り組み経緯

- ▶ 取り組み開始時期
職員の腰痛による休職をきっかけに令和元年より取り組み開始。
- ▶ リフトや福祉用具の導入



床走行式リフト4台



スタンディングリフト1台



フレックスボード1枚

ノーリフティングケアの取り組み経緯

▶ リフトや福祉用具の導入



ラクラックス2枚



移乗ボード10枚



介助グローブ20枚



スライディングシート34枚

組織体制

統括マネージャー（施設長）

委員会の計画・実施・進捗状況の確認及び改善等の
全体管理

個別プログラミング担当 （ユニットR、リハ職員、ケアマネ）

・個々の入居者に応じたアセスメントを行い、リフトや福祉用具を用いた移乗介助方法を検討する。

福祉用具の点検と 購入（施設長）

・リフト、スリングシート等の福祉用具に異常や破損、紛失がないか点検を行う

職員教育 内部研修 （介護主任、ユニットR、リハ職員）

・各職種や経験に応じた研修を開催し、技術・知識の向上を図る。

職員教育 外部研修 （施設長）

・各職種や経験に応じた研修を開催し、技術と知識の向上を図る。

健康管理 （施設長、看護主任）

・簡易腰痛調査や各ユニットRの意見を基に、業務内容の見直し等腰痛予防の検討を行う

1. 委員会活動

令和5年度特別養護老人ホームさくら ノーリフティングケア進捗管理表(下半期)

	目標	内容	担当	計画	12月
<p>腰痛対策委員会 (6月、9月、12月、3月)</p>	<p>職員の腰痛の新たな発生や悪化を防止、職員の健康と安全を守る。</p>	<p>職員の腰痛の悪化や新たな発生を防止、健康調査、教育、作業環境の見直し、個別プランニングを組織的に計画・実施・評価を行う。</p>	<p>施設長</p>	<p>進捗状況</p>	<p>12/28委員会開催予定</p> <p>12月28日委員会開催し、以下の検討行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ①個別プランニング ②福祉用具の点検 ③福祉用具の購入 ④内部教育 ⑤外部教育 ⑥健康管理

2. 個別プランニング

令和5年度特別養護老人ホームさくら ノーリフティングケア進捗管理表(下半期)

	10月	11月	12月	
①個別 プランニング	<p>目標</p> <p>職員、入居者の双方にとって最適な介助方法を実践する。</p>	<p>内容</p> <p>個々の入居者に応じたアセスメントを行い、リフトや福祉用具を用いた介助方法を検討する。</p>	<p>担当</p> <p>CM リハビリ (OT) ユニット R</p>	<p>計画</p> <p>・入居者の状態変化があれば随時アセスメントシートを変更し、ケアプランに反映する。 ・利用者の状況に応じて、最適な介助方法を実践するため、問題があればユニット職員から手が上がるような環境をつくる。</p>
	<p>進捗 状況</p>	<p>各ユニットともアセスメントシートの更新とケアプランへ反映ができてい</p>	<p>る</p>	

2. 個別プランニング

①アセスメントシート表

アセスメントシート (作成日 R5年2月13日)		(変更日 R5年 8月 10日)		作成者 吉岡	
利用者名 (N・K 様)					
① 移動	② 移乗				
	立位	立位姿勢が(安定している(不安定))		端坐位	座位姿勢が(保持できる(できない))
	歩行移動	使用道具(フリー・杖・シルバーカー・歩行器)		移乗方向	車椅子は右付け・左付け
	車椅子移動	介助方法(見守り・付き添い歩行・介助歩行)		立位移乗	一部介助・見守り 介助で立位が(とれる(とれない))
	使用車椅子種類	(自走・(介助))		福祉用具使用	
	車椅子シートクッション	(普通型)・介助用・ティルトリクラ・リクライニング)		リフト	床走行リフト・(スタンディングリフト)
	座位崩れ	(あり(なし))		ボード	(イージングガイド S・M・バナナ・モーション)
	リビング	(食卓椅子・車椅子・ベッド)		シート	黒・赤
	特記事項			ベッド手すり	(普通型手摺・L字バー)
	特記事項			特記事項	※麻痺(ある(なし))
③ 特記事項					
立ち上がりに膝が伸びず介助する職員に負担が大きいため、移乗介助、トイレ介助をスタンディングリフトを使用する事に変更する。					

2. 個別プランニング

②アセスメントシート後の福祉用具の変更

変更前



変更後



3. 福祉用具の点検と購入

令和5年度特別養護老人ホームさくら ノーリフティングケア進捗管理表(下半期)

	10月	11月	12月	
②福祉用具の点検	<p>目標</p> <p>機器の異常や破損を早期発見し、事故を予防する。</p>	<p>内容</p> <p>リフト、スリングシート等の福祉用具に異常や破損、紛失がないか点検を行う</p>	<p>担当</p> <p>施設長</p>	<p>計画</p> <p>進捗状況</p>
		<p>3階スズラン床走行リフト中継ケーブルが断線。10/24業者に部品発注し、交換完了。</p> <p>10/24床走行リフト4台を業者で点検実施。4台とも大きな異常箇所なし(グリップ破れのみ)</p>		<p>器具の点検</p> <p>12/15に3階スカイリフトバッテリー異常。12/21業者訪問し、バッテリー交換完了。</p>
③福祉用具の購入	<p>目標</p> <p>職員の配置や入居者の状態によって必要な物品を精査する。</p>	<p>内容</p> <p>予算や入居者の状態に応じて機器や用具の購入及び補助金申請の手続きを行う。</p>	<p>担当</p> <p>施設長</p>	<p>計画</p> <p>進捗状況</p>
		<p>10万円以上の福祉用具を購入する場合は、委員会で検討する。</p> <p>10万円以下の福祉用具や既存用具の破損や不足時は適時購入を検討する。</p>		<p>シヨートステイでタッチアプが腐食し使用困難。またし字バーも不足しているが、改めて使用する利用者のアセスメントを行い、優先順位を決めて購入検討する。</p>

4. 内部教育

①リーダーの教育体制

- ・ノーリフティングケア指導職員から介護主任、ユニットRへ職員へ伝達するための研修

令和2年度ノーリフトケア技術確認研修 実施確認表

研修科目	ステップ1	ステップ2	ステップ3	ステップ4	ステップ5	ステップ6
	寝返り 起き上がり	床走行リフト	スライディング シート	グローブ	スライディング ボード	座り直し 立ち上がり
川人主任		令和2年5月10日	令和2年6月7日	令和2年7月5日	令和2年10月	令和2年9月25日
岡崎主任	令和2年4月5日	令和2年5月10日	令和2年6月7日	令和2年7月5日	令和2年10月	令和2年9月25日
下元R	令和2年4月5日	令和2年5月10日	令和2年6月7日	令和2年7月5日	令和2年10月	令和2年9月25日
玉木R	令和2年4月5日	令和2年5月10日	令和2年6月7日	令和2年7月5日	令和2年10月	令和2年11月8日
川上R	令和2年4月5日	令和2年5月10日	令和2年6月7日	令和2年7月5日	令和2年10月	令和2年9月25日
百代R	令和2年4月5日	令和2年11月8日	令和2年6月7日	令和2年11月8日	令和2年10月	令和2年9月25日
武田R	令和2年12月6日	令和2年5月10日	令和2年6月7日	令和2年7月5日	令和2年10月	令和2年9月25日
中山R			令和2年11月8日	令和2年7月5日	令和2年10月	令和2年9月25日
矢野R	令和2年4月5日	令和2年5月10日	令和2年6月7日	令和2年7月5日	令和2年10月	令和2年9月25日

4. 内部教育

②ユニット職員の教育体制

- ・ユニットRから福祉用具の使用方法についての研修を実施



4. 内部教育

②ユニット職員の教育体制

- ・ユニットRから福祉用具の使用方法について研修を実施



スライディングシートやボード、リフトスリング
の安全な使い方etc...



4. 内部教育

③新人・中途職員の教育体制

中途職員育成計画書(特養さくら)

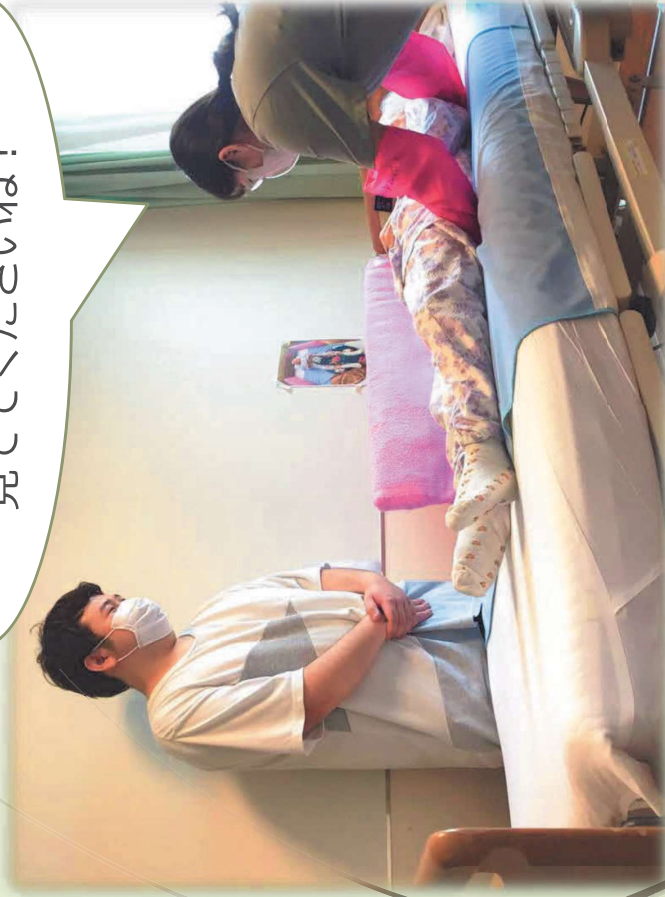
期間	育成目標	現場での育成内容	必要書類	担当者	備考
初日	ノーリフティングケアが理解できる	<ul style="list-style-type: none"> ・ノーリフト・ビギナーズe-ラーニング視聴 ・ノーリフティングケアの基本的な内容を説明する 	ノーリフトケア実践マニュアル ①～③ ノーリフティングケアの目的と 取り組み	介護主任 リハビリ職	本人の技術レベルや育成スピードによって指導内容は調整する
2週間 ～ 1ヶ月	福祉用具(シートやリフト等)の使用方法が理解できる	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉用具の使用方法の説明(ノーリフトケア実践マニュアル⑤) 	リフト操作技術確認表 ノーリフト実践マニュアル	リハビリ職 担当指導 職員	
1ヶ月 ～ 3ヶ月	福祉用具(シートやリフト等)の使用が1人でできる	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉用具の実践 	リフト操作技術確認表	リハビリ職 担当指導 職員	

4. 内部教育

③新人・中途職員の教育体制

- ・ユニットR→新人・中途職員へOJTを実施

しっかり身体の動きを
見ててくださいね！



中腰になってるよ～！



4. 内部教育

- 安全に操作するため、床走行リフトを初めて使用する職員は必ずテストを実施

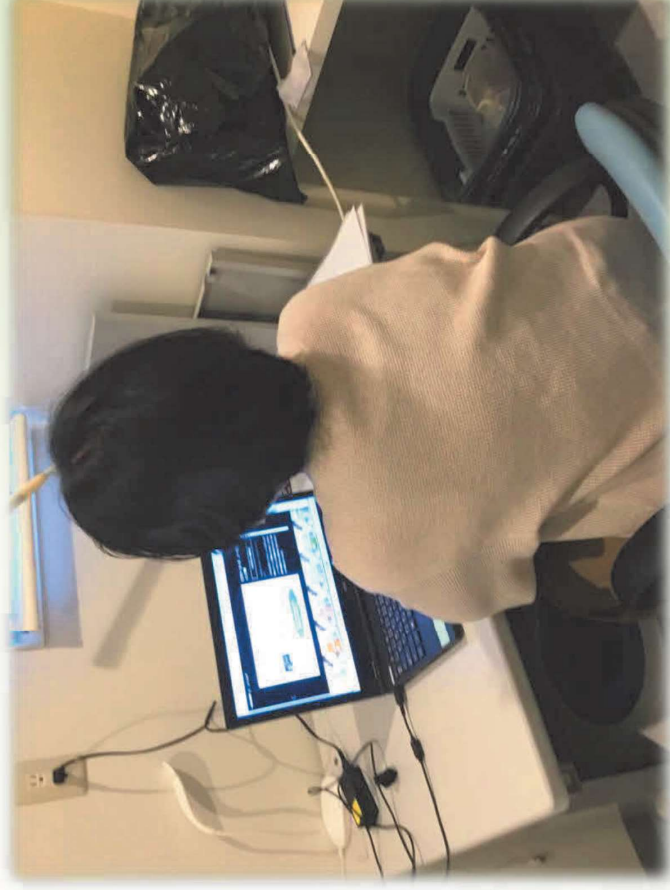
リフト操作技術確認表			
回目 (年 月 日)	実践者 職員名 ()	評価者 職員名 ()	評価
乗員と子エック項目		乗員と子エック項目	
＜ベッドから車椅子＞		＜車椅子からベッド＞	
①ベッド上シートの敷きこみ ※背中心合わせと尾骨部合わせ ※ベッドギャッジを上げる	⑦車椅子上シートを敷きこむ ※車椅子のブレーキはかけて行う ※背中心合わせと尾骨部合わせ ※脚部のシートは左右対称に設置する		
②ハンガーにストラップをかける ※ハンガーは目線より下げ離して作業をする ※ストラップは交差させしつかりかける ※ストラップを引っ張りかかっているか確認する	⑧ハンガーにストラップをかける ※ハンガーは目線より下げ離して作業をする ※ストラップは交差させしつかりかける		
③指差し確認をする ※吊り具がかかっているか確認する ※周辺環境に問題がないか確認する	⑨吊り上げる ※車椅子のブレーキははずしておく ※テンションがかかたら圧抜きをする		
④吊り上げる ※テンションがかかたら圧抜きをする	⑩ベッドに降ろす ※あらかじめベッドのギャッジは上げておく ※臀部の位置をあわせてリフトを降ろす		
⑤車椅子におろす ※車椅子のブレーキは必ずかける ※前から両膝をおして臀部を押し込む	⑪吊り具をはずす ※ハンガーは目線より下げ離して作業をする		
⑥吊り具をはずす ※ハンガーは目線より下げ離して作業をする			指導職員確認印

4. 内部教育

④e-ランニング研修



全職員に対して統一基本ケア
セミナー視聴



新人・中途職員に対して
ノーリフト・ビギナーズe-ランニング視聴

5. 外部教育

令和5年度特別養護老人ホームさくら ノーリフティングケア進捗管理表(下半期)

	目標	内容	担当	10月	11月
⑤施設外教育	<p>役職・経験年数に応じた外部研修に参加し、ノーリフティングケアの知識・技術を習得する。</p>	<p>各職種や経験に応じた研修に参加し、技術・知識の向上を図る。</p>	<p>施設長</p>	<p>○新規職員～ノーリフティング基本技術研修、ノーリフティングファーストステップ研修</p> <p>○中堅職員～ポジショニング基礎研修、シーティング基礎研修、排泄研修</p> <p>○介護主任、ユニットR～技術教育リーダー養成研修、ノーリフティング指導者養成研修</p> <p>○管理者、看護、リハビリ、CM～福祉用具管理リーダー研修(eランニング)、健康管理リーダー養成研修(eランニング)、アセスメントプランニングリーダー養成研修</p>	<p>11月7,8日ノーリフティング基本技術研修(河津cw)</p> <p>11月21,22日ノーリフティング基本技術研修(岡林cw、掛水R)</p>
				<p>10月10,11日ノーリフティング基本技術研修(下元R)</p> <p>10月16,17日ノーリフティング指導者養成研修(下元R)</p>	<p>11月7,8日ノーリフティング基本技術研修(河津cw受講完了)</p> <p>11月21,22日ノーリフティング基本技術研修(岡林cw、掛水R受講完了)</p>
				<p>進捗状況</p>	<p>10月10,11日ノーリフティング基本技術研修(下元R、前田cw受講完了)</p> <p>10月16,17日ノーリフティング指導者養成研修(下元R受講完了)</p>

6. 健康管理

①腰痛調査の実施

簡易腰痛調査票	
記入日 R 年 月 日	所属 () 氏名 ()
問1. 現在、腰痛がありますか？ <input type="checkbox"/> 常に痛い、痛みがよくある <input type="checkbox"/> 時々痛い <input type="checkbox"/> 痛みまでは感じないが、腰が疲れやすい <input type="checkbox"/> 今は痛みはないが以前痛めたことがある <input type="checkbox"/> 痛くない	問4. 治療はしていますか？ <input type="checkbox"/> している 治療内容 () <input type="checkbox"/> していない
問2. 慢性的な腰痛はありますか？ <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	問5. 腰のほかに痛みがありますか？ <input type="checkbox"/> あり 痛みの部位 () <input type="checkbox"/> なし
問3. 腰痛の原因となる疾患がありますか？ 疾患例：腰椎椎間板症、腰椎椎間板ヘルニア 腰部脊柱管狭窄症、変形性腰椎症等 <input type="checkbox"/> あり 疾患名 () <input type="checkbox"/> なし	問6. 身体的（特に腰部）につらいを感じる業務や介助は何ですか？ 具体的に記入をお願いします。（対象となる利用者の介助内容等）

6. 健康管理

①腰痛調査の実施

簡易腰痛調査結果 令和5年7月			
回答職員	66名		
問1. 現在、腰痛がありますか？			
<input type="checkbox"/> 常に痛い、痛みがよくある	5名	<input type="checkbox"/> している	11名
<input type="checkbox"/> 時々痛い	21名	<input type="checkbox"/> していない	55名
<input type="checkbox"/> 痛みまでは感じないが、腰が疲れやすい	8名		
<input type="checkbox"/> 今は痛みはないが以前痛めたことがある	11名		
<input type="checkbox"/> 痛くない	21名		
問2. 慢性的な腰痛はありますか？			
<input type="checkbox"/> あり	18名	<input type="checkbox"/> あり	22名
<input type="checkbox"/> なし	48名	<input type="checkbox"/> なし	44名
問3. 腰痛の原因となる疾患がありますか？			
<input type="checkbox"/> あり	13名	問6. 身体的（特に腰部）につらいを感じる業務や介助は何ですか？ 具体的に記入をお願いします。（対象となる利用者の介助内容等）	
<input type="checkbox"/> なし	53名	○靴を履く、フットレストの上げ下げ、移乗介助（3階スズラン職員）	
		○I・Y様のトイレ介助（3階アジサイ職員）	
		○ 床、畳からの立ち上がり介助（3階アサガオ職員4名）	
		○お釜や米など重い物を持ち上げる時（調理職員）	
		○洗浄業務（調理職員）	

6. 健康管理

② 調査結果後の対策

令和5年度特別養護老人ホームさくら ノーリフティングケア進捗管理表(上半期)

		9月	
目標	内容	担当	計画
⑥健康 管理	簡易腰痛調査や各ユニットRの意見を基に、業務内容の見直し等、腰痛予防の検討を行う	施設長 看護 主任	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易腰痛調査結果報告と対策 ・各職種から職員の腰痛に関する意見交換
			<ul style="list-style-type: none"> ・腰痛調査結果の報告。(介護) 置対応入居者の移乗介助が負担となる職員が多い。→ベッドサイドにマットレスを敷き、畳からベッドに変更可能か検討。畳対応の介助負担が継続して課題となっている。超低床ベッドや床から移乗可能な用具の導入も来年度検討必要。
			進捗 状況

成果と課題

① 成果

ノーリフティングケアを当たり前のケアとするため、委員会の在り方、利用者に応じた福祉用具の選定方法、教育方法、業務の改善方法等マネジメント手順が定着することできた。また介護職員からも、利用者の状態変化に応じて、福祉用具を使用したいという声が上がってきているようになり、ノーリフティングケアに対する意識付けができた。

② 課題

時間に追われ、福祉用具を適切に使用できず、力任せのケアになることも一部あるため、目的を理解し、双方にとってより良いケアに繋がるよう取り組んでいきたい。

ご清聴ありがとうございました。